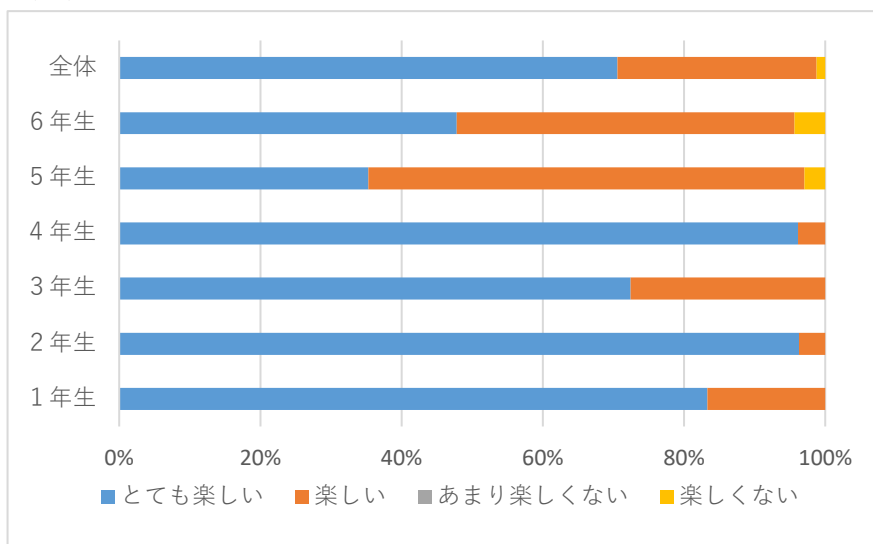


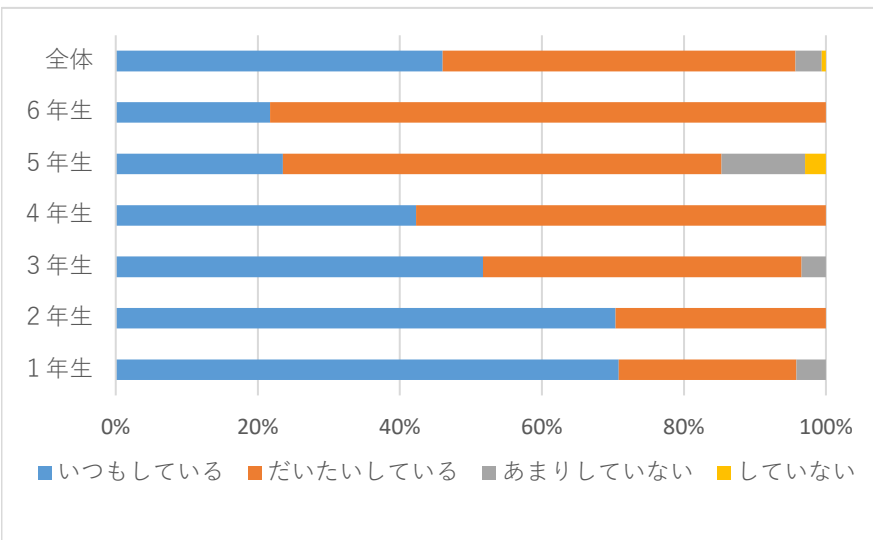
※子どもたちへのアンケート

（１）外国語科の授業は楽しいですか？



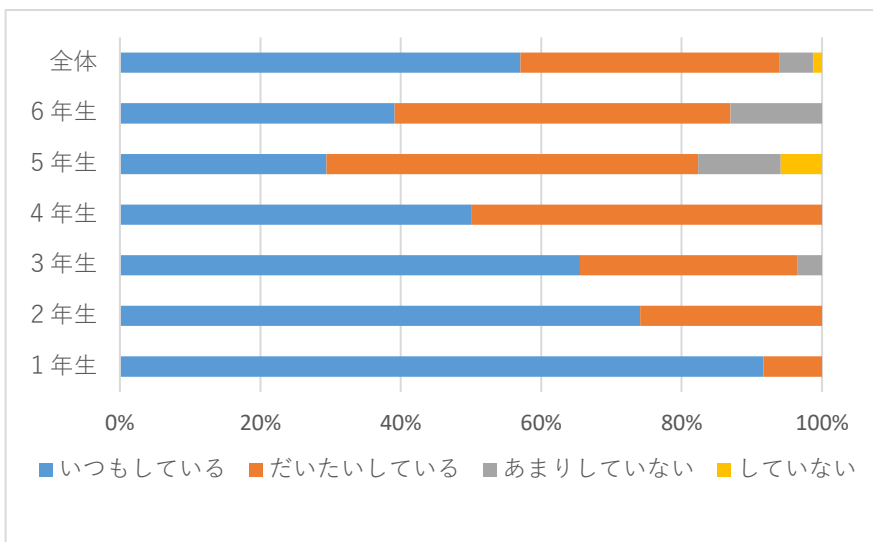
昨年度より、4ポイント高い、98パーセントの児童が「授業は楽しい」と感じている。経年比較で見ると、特に5・6年生において「楽しい」と感じている児童の割合が増加している。今後も児童が「楽しい」と感じるような授業を心がけていきたい。

（２）外国語科の授業で（はっきりした大きな声で話すことを心がけていますか）



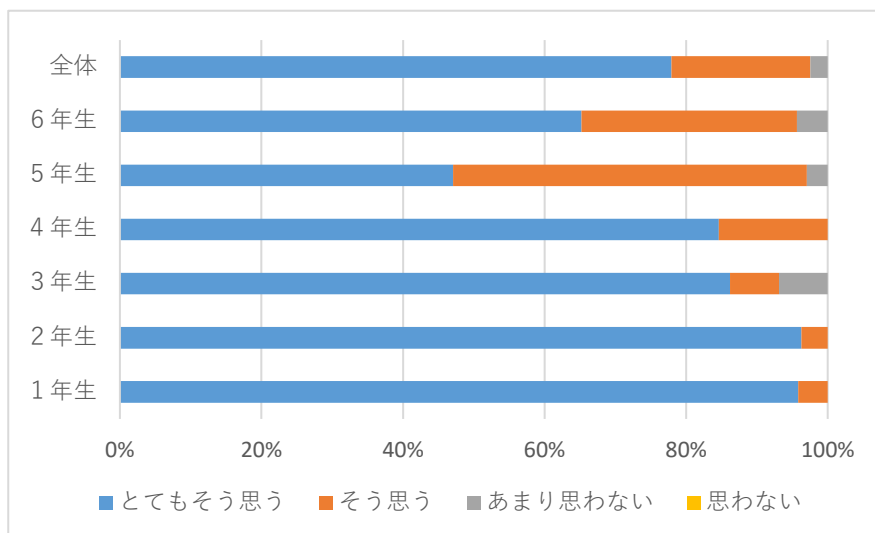
昨年度より10ポイント高い95パーセントの児童が「はっきりした大きな声」を心がけている。また、「心がけていない」の児童の割合も減少し、全体的に授業への意欲の向上が表れている。今後も発声の大事さや必要性をつたえていきたい。

（３）外国語科の授業で（相手の目を見ながら会話することを心がけていますか）



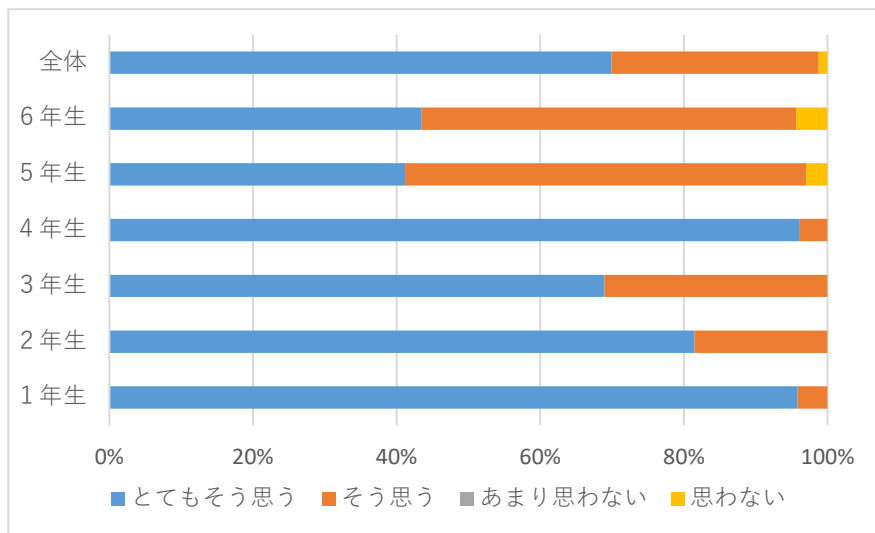
昨年度より8ポイント高い93パーセントの児童が「相手の目を見ながら」を心がけている。特に高学年になるとタブレットを使用する場面も多くなるが、話すときはしっかり相手の目を見るように心がけさせたい。

(4) もっと英語が話せるようになりたいですか



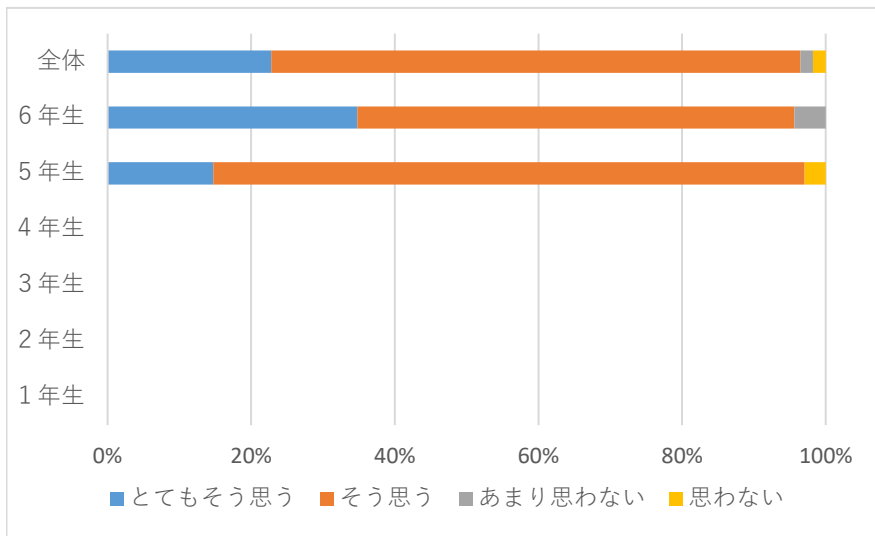
昨年度より5ポイント高い97パーセントの児童が「もっと英語が話せるようになりたい」と感じている。授業においては、学んだ表現を使い、実際に英語でやり取りする場面を設定している。ALTとのコミュニケーションもとり入れている。今後も中間指導の質を高めることでさらに児童の意欲を高めていきたい。

(5) 外国語科の授業は好きですか



昨年度よりやや増加し、98パーセント以上の児童が「外国語の授業が好き」と答えている。「好きだと思わない」と答えた児童が2人いたので、全員が楽しいと思える授業を目指したい。まだ苦手意識のある児童もいるので、児童の実態に合わせた授業を実践していきたい。

(6) 外国語科の授業はわかりますか



昨年度より14ポイント高い96パーセントの児童が「外国語の授業は分かる」と感じている。今後もデジタル教科書の活用を行うとともに実際に英会話での交流の場面を設け、児童の理解度を高めていきたい。個人のめあてと振り返りの継続でレベルアップしていくような学習者中心とした授業を行ってきたい。

【学校関係者・保護者からの意見】

- ・日常生活の中で、自然と英語が出てくることがあり、学校で学んだことが身についているを感じる。